kaise

バッテリークリップ変換ケーブル

MODEL 808

取 扱 説 明 書

カイセ株式会社

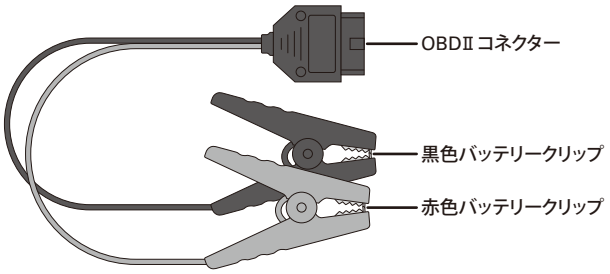
本製品は、KG-106 / 106Cポータブルジャンプスターターおよび KG-150メモリーバックアップのバックアップ電源機能において、バッテリーターミナル接続によるバックアップを行うための変換ケーブルです。
本体（KG-106 / 106CまたはKG-150）の取扱説明書をよくお読みいただいたうえでご使用ください。

安全上・使用上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告／注意

- 逆接続（バッテリーの⊕と⊖の極性を逆に接続）や短絡は、絶対にしないように注意してください。けがや故障、発火の原因になります。
- 濡れた状態での使用は避けてください。感電の原因になります。
- 24V車両のバックアップはできませんので使用しないでください。使用すると故障、発火の原因になります。
- ケーブルを強く引っ張らないでください。断線などの原因になります。
- 弊社OBDⅡケーブル（型式：802/806）の変換以外の用途に使用しないでください。
- バックアップ中は、バッテリークリップとバッテリーターミナルの接続、およびOBDⅡケーブルとの接続が外れないようにご注意ください。
- 本体（KG-106/106CおよびKG-150）の取扱説明書に記載されている警告／注意事項を厳守してください。

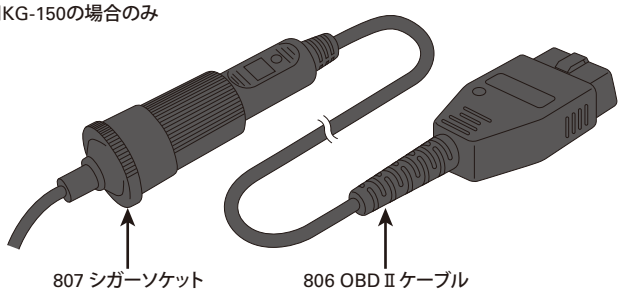
本体・付属品各部の名称と働き



使用方法

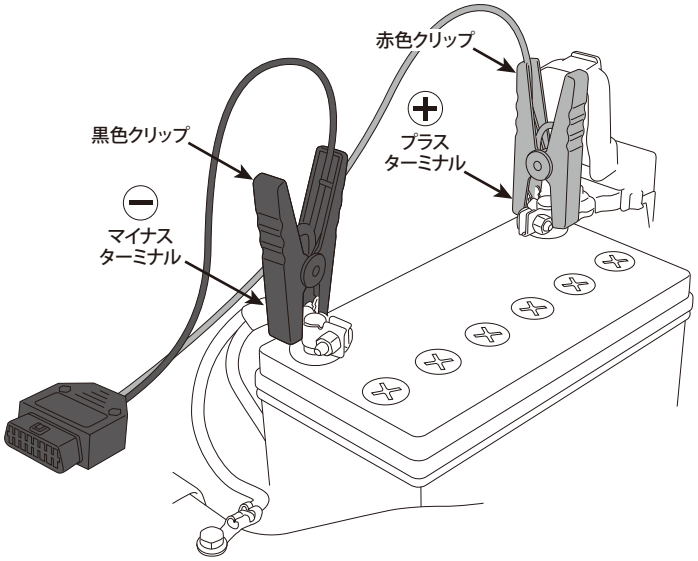
①車両のキーを抜いて、ライト類（室内灯含む）を全てOFFにします。
②あらかじめ車両バッテリーのステーを外し、バッテリーターミナルのボルトをゆるめておきます。
③電源キーを押して残量インジケーターの点灯を確認します。電池残量が少ない場合は本体を充電してください。
④本体がKG-150である場合は、806 OBDⅡケーブルと807 シガーソケットを接続します。（KG-106/106Cの場合は不要）

■KG-150の場合のみ



⑤バッテリーの極性に注意して、本ケーブルの赤色クリップを⊕ターミナル端子に、黒色クリップを⊖ターミナル端子に接続します。外れないようにしっかりとクリップしてください。

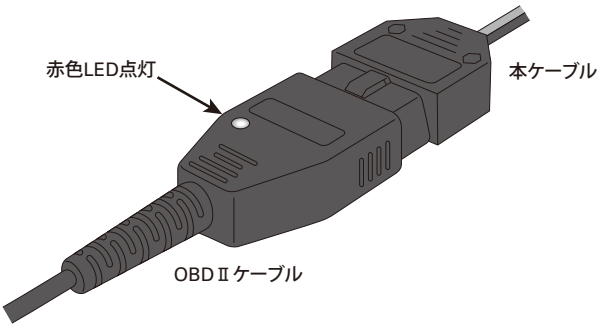
> **⚠ 警告** ⊕と⊖を逆に接続してしまっているとショートの恐れがあります。逆接続でないか再度確認してください。



⑥本ケーブルとOBDⅡケーブルのOBDⅡコネクター同士を接続します。

> **⚠ 警告** 本体接続側の端子部（KG-106/106CではOBDⅡケーブルのシガープラグ、KG-150では807シガーソケットのDCプラグ）が、車両のボディや金属部に接触しないように注意してください。

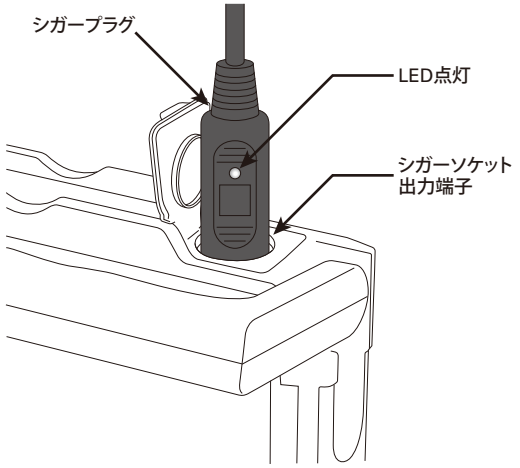
⑦OBDⅡケーブルのコネクターの赤色LEDが点灯したことを確認します。
※点灯しない場合は、車両バッテリーの電圧が著しく低下している、またはターミナル端子の接触不良や逆接続の可能性があります。
※接触不良で赤色LEDが点滅している、または点灯しない場合は、各接続を一旦解除して、ワイヤーブラシなどでバッテリーのターミナル端子を清掃してから、再度接続してください。（別売付属品：690ワイヤーブラシ）
※電圧が著しく低下したバッテリーのバックアップは行えません。



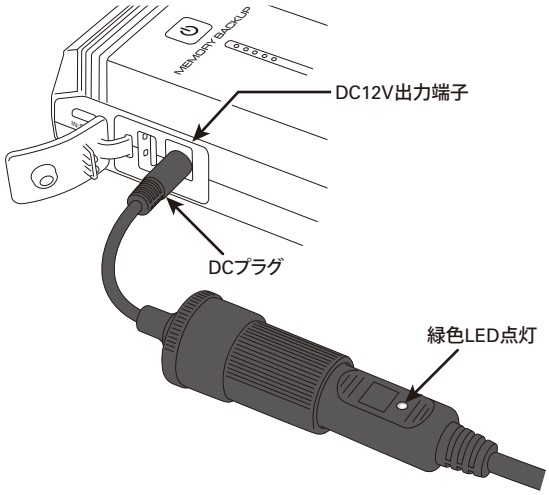
裏面へつづく

⑧本体のダストカバーを開いて、ケーブルを接続します。
※各接続部が外れないように、安定した場所に置いてください。
⑨シガープラグのLEDが点灯したことを確認します。LEDが消灯した状態ではバックアップ電源として機能しません。
※LEDが点灯しない場合は、シガーソケットとOBDⅡケーブルの接続および本体バッテリーの残量を確認してください。問題が無い場合はシガープラグ内部のヒューズが切れている可能性があります。

■KG-106 / 106Cの場合
本体のシガーソケット出力端子に OBDⅡケーブルのシガープラグを差し込みます。



■KG-150の場合
本体のDC12V出力端子に 807 シガーソケットのDCプラグを差し込みます。

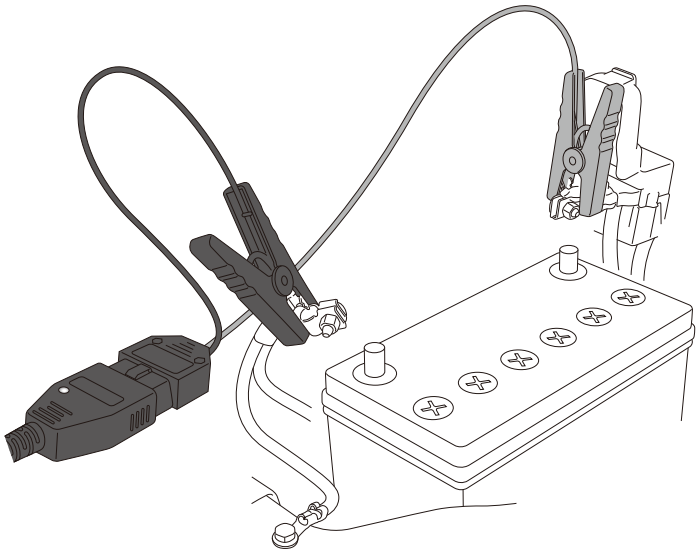


⑩バッテリー交換の前（バッテリーターミナルを外す前）に、車両のドアを全て閉めてキーロックを行ってください。
※車両のドアを開くと、ドアランプやルームランプが点灯して、OBDⅡケーブル内のヒューズが切れることがあります。

⑪バッテリー交換を行います。バッテリーターミナルを外す際は、バッテリークリップが外れないようにご注意ください。

> **⚠警告** バッテリー交換中は、外したバッテリーターミナルが車両のボディや金属部に接触してショートさせないように注意してください。

※バックアップ中に車両のドアを開いたり、ブレーキを踏んだり、ライトや室内灯を点灯したり、キーを回したりしないでください。OBDⅡケーブル内のヒューズが切れることがあります。
※車両バッテリーが過放電している場合、OBDⅡケーブル内のヒューズが切れることがあります。
※ヒューズ切れの場合は、本体の取扱説明書を参照のうえ、同仕様のヒューズと交換してください。仕様の異なるヒューズの使用は絶対にしないでください。
※一部の車両ではバックアップ動作を行うと過電流によりブレーカーが作動し、車両メモリーが消去する場合があります。整備要領書などでご確認ください。
※本体と車両を接続したままエンジンを始動しないでください。



⑫終了しましたら本体の電源をOFF（KG-150のみ）にした後、本体とバッテリーターミナルの接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。

■製品の使い方や修理に関するお問い合わせ、修理品の送付先

カイセ株式会社

製造サービス課
〒386-0156 長野県上田市林之郷422
TEL 0268-35-1602 / FAX 0268-35-5515
Email : service@kaise.com

カイセ株式会社

〒386-0156 長野県上田市林之郷422
TEL 0268-35-1600（代） FAX 0268-35-1603 E-mail service@kaise.com

70-1101-M808-1 2005